

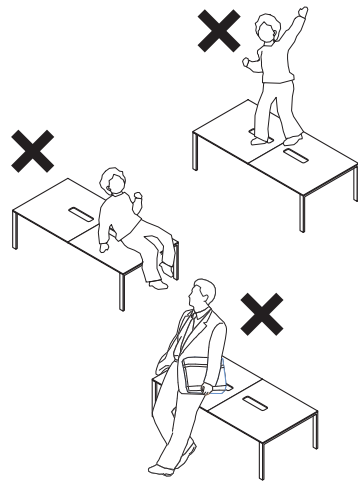
安全上のご注意

●使用上の注意

1. 天板の上に立ち上がったり、踏台代わりに使わないでください。
2. 天板の端に腰かけないでください。
3. テーブルのすべての脚が床面に着いた状態で使用してください。
4. クッションフロアの上で使用しないで下さい。床を傷つけることがあります。
5. 取り付け金具などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみ始めたらしっかり締めなおしてください。

●保守・点検

1. チョウバンや金具類などの固定用ネジがゆるんでいないか時々点検し、ゆるみ始めたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っているとドアがこわれて、ケガをする事があります。
2. 天然素材を使用しておりますので、虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられますので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。



●手入れ方法

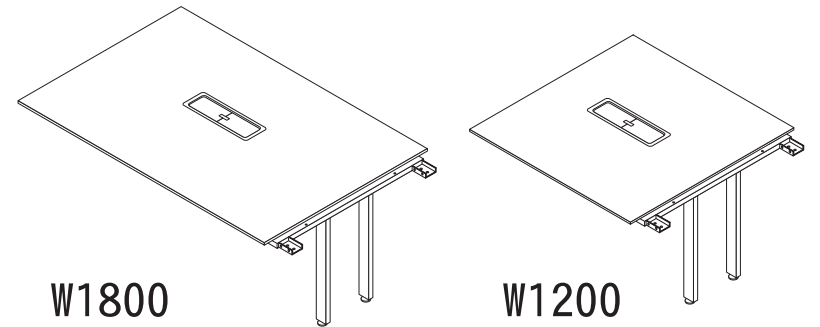
1. 日常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、よく絞った布で洗剤を拭き取り、次に乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。
※シンナーなどの揮発性の物では拭かないでください。

●施工上の注意

1. 本製品のねじ締付け時には、電動工具は使用しないでください。手まわしドライバーで施工して下さい。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
 2. 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含有率19%以下)を使用し、湿潤材(グリーン材)は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
 3. 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
 4. 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合には、造作材・建具枠木口と床面に、必ず防水処理ををしてください。
 5. 養生シートをかぶせる場合には、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。はがす際に、化粧シートが破損するおそれがあります。
 6. 発熱燈付近には取り付けしないで下さい。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- ※正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読み頂き大切に保管してください。

パーツリスト				
①天板 W1800 1個 W1200 1個	②脚 1個	③支柱 W1800 2個 W1200 2個		
④ボルト・S 22個	⑤ボルト・L 14個	⑥ワッシャー 14個	⑦カバー 枠1個 蓋2個	⑧コード収納 1個
⑨木ネジ 2個	⑩コードダクト 1個	⑪六角レンチ 1個		

完成図



※UTS-3612に増連する際、3連結(全長9m)まで対応可能。

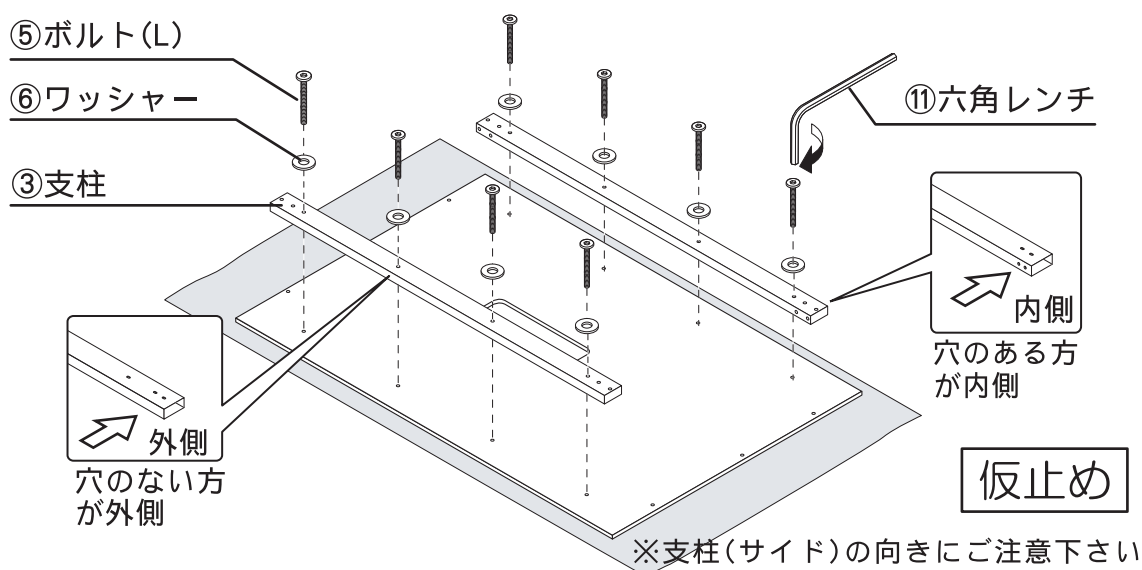
《組立前の注意》

- ※組立ての前に本書をよくお読みになって、正しく組み立ててご使用ください。
- ※組立ての前に部品・部材の数量を確認してください。
- ※組立ての際、ケガをしないように必ず手袋を着用してください。

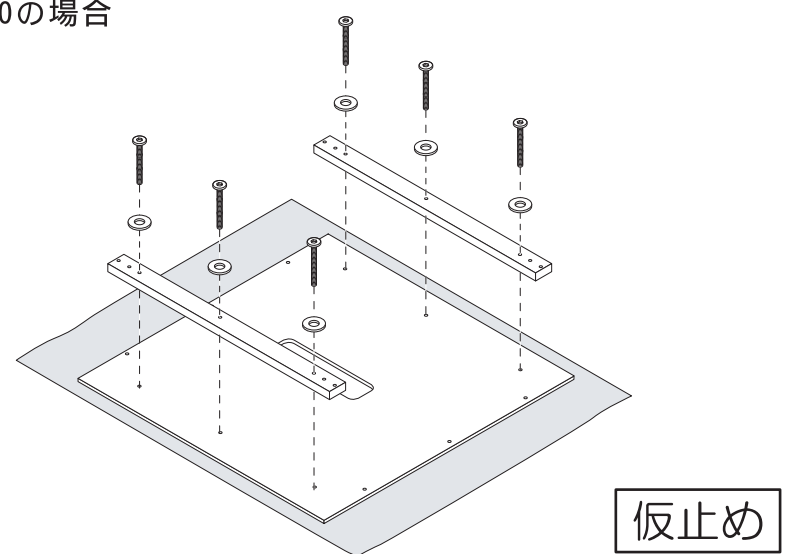
《組立手順》 ※この説明書はW1800の場合を例に表記しています。

1 支柱の取り付け

①天板を裏返して置き、③支柱を天板のボルト穴に合わせて⑪六角レンチを使用し、⑥ワッシャーを通し、⑤ボルト(L)で仮止めします

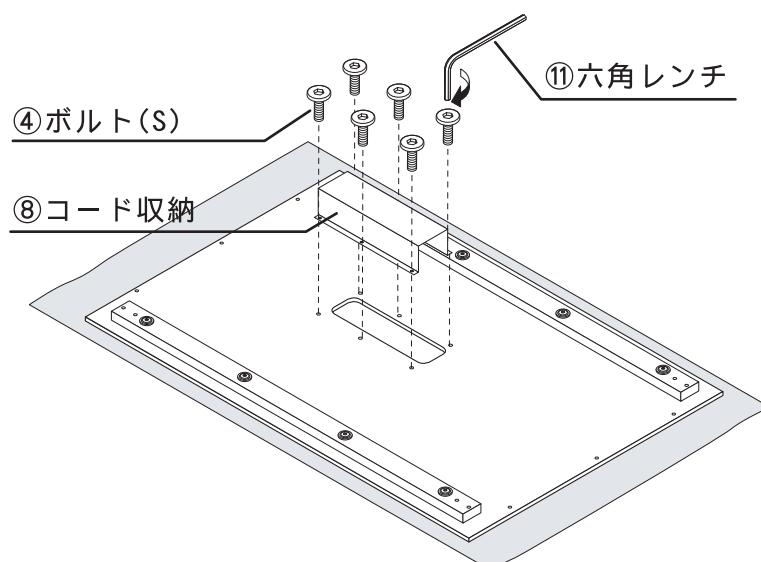


※1200の場合



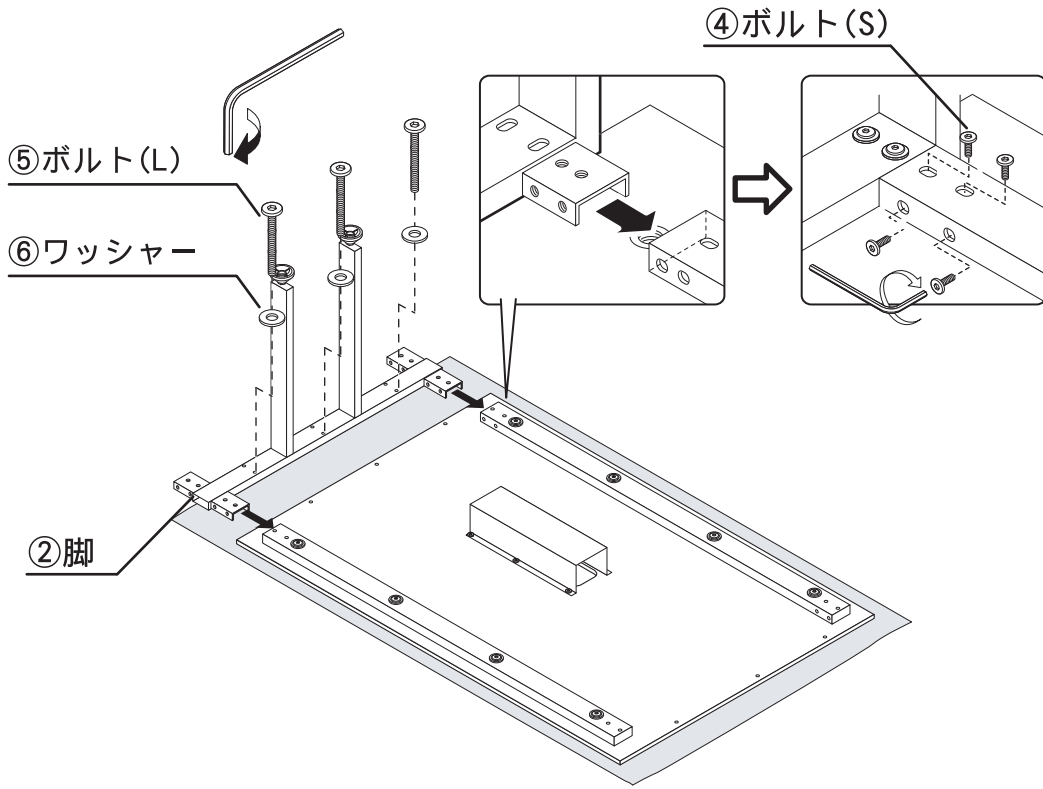
2 コード収納を取り付けます

⑪六角レンチを使用し、
④ボルト(S)で ⑧コード収納を取付けます



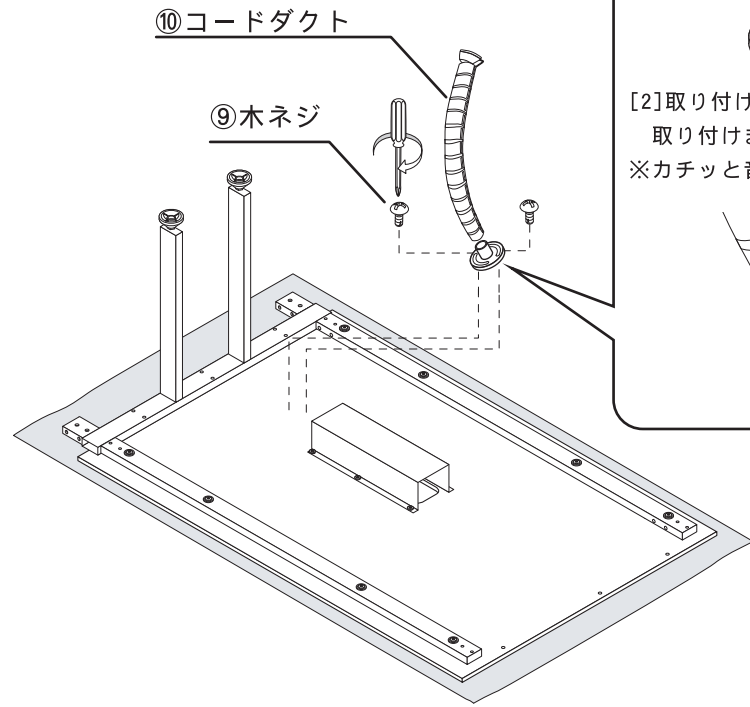
3 脚の取り付け

天板を裏返したまま、②脚を取り付け、
⑤ボルト(L)、⑥ワッシャーで仮止めします。
またジョイント部分を、④ボルト(S)で下図のように仮止めします。

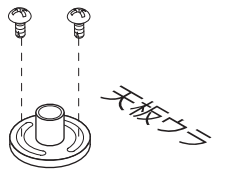


4 コードダクトを取り付けます

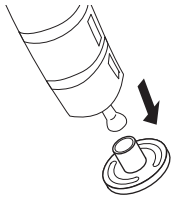
ドライバーを使用し、⑨木ネジで、
⑩コードダクトを取付けます。



[1]コードダクトのコネクトを先に
天板に取り付けます。

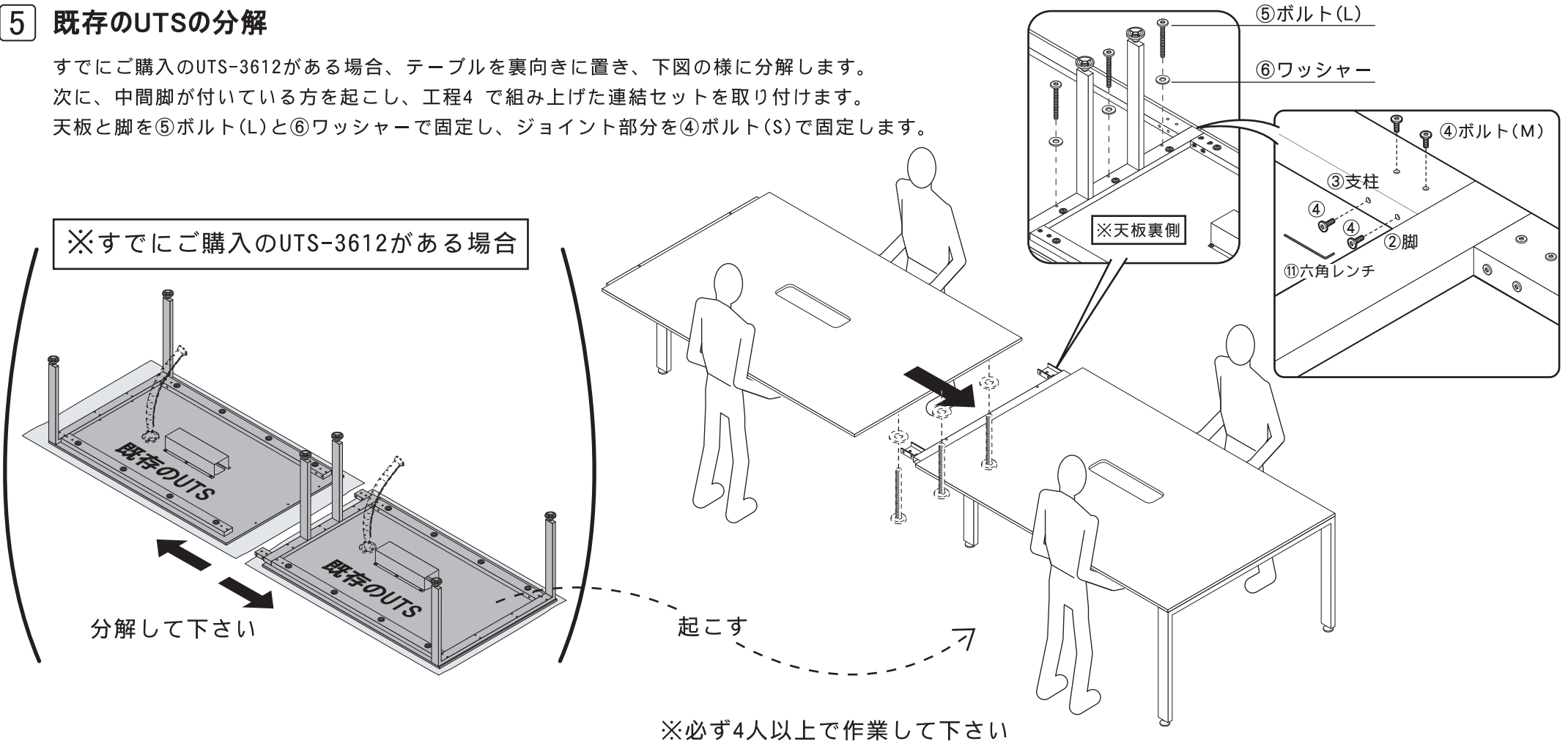


[2]取り付けしたコネクトに本体を
取り付けます。
※カチッと音がすると固定されます。



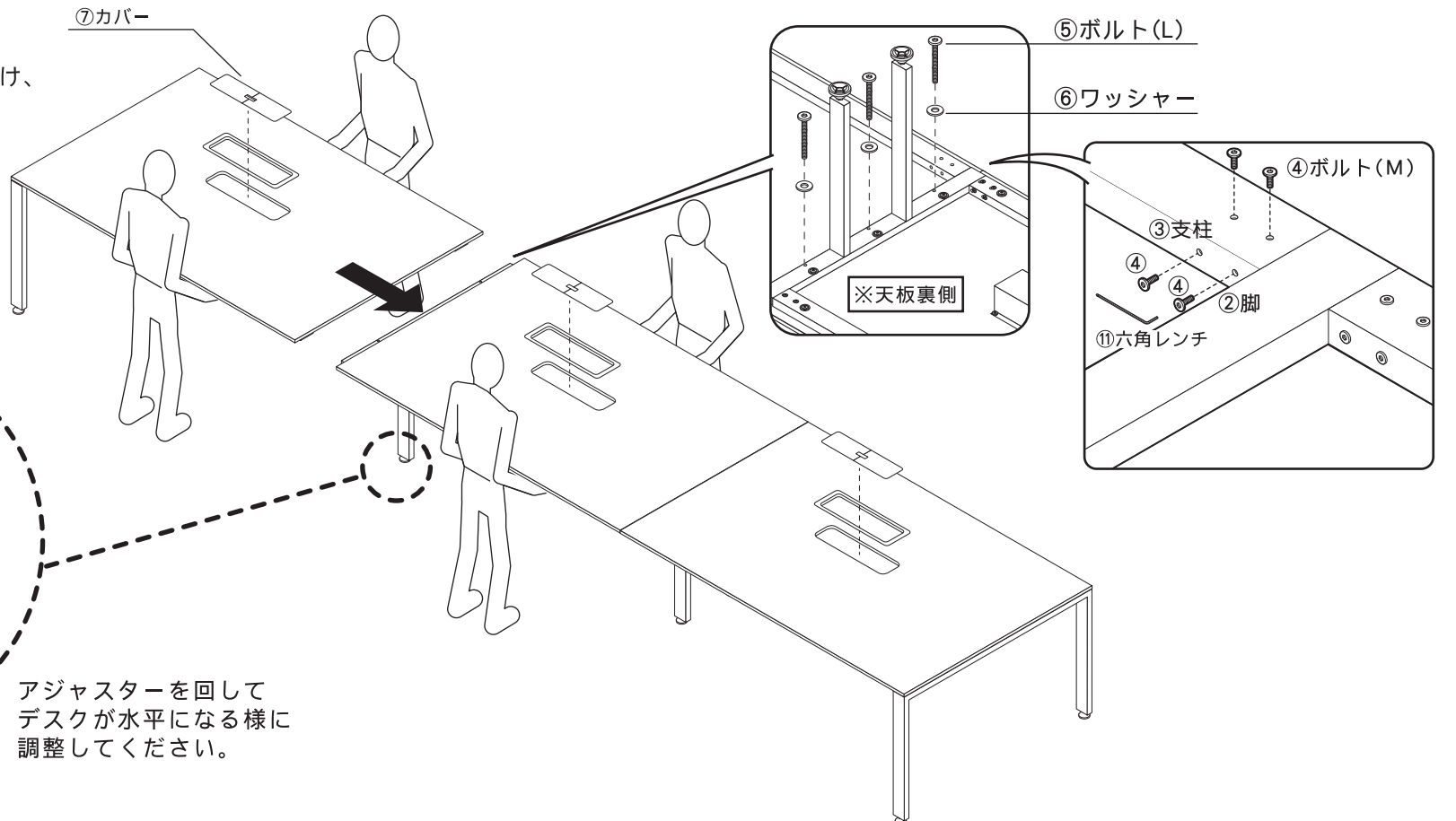
5 既存のUTSの分解

すでにご購入のUTS-3612がある場合、テーブルを裏向きに置き、下図の様に分解します。
次に、中間脚が付いている方を起こし、工程4 で組み上げた連結セットを取り付けます。
天板と脚を⑤ボルト(L)と⑥ワッシャーで固定し、ジョイント部分を④ボルト(S)で固定します。



6 完成

同様に、残りの既存のUTSを取り付け、
⑦カバーを取り付けて完成です。



低くする 高くする

アジャスターを回して
デスクが水平になる様に
調整してください。